

# NIHONGO Fun & Easy

教え方のポイントまとめ 【Unit7-12】

# はじめに

---

この資料は、ゼロ初級者向けサバイバル日本語教材  
「NIHONGO Fun & Easy」の教え方ポイントまとめです。

私の実体験で、よく聞かれること、間違いやすい点など  
全て盛り込んでいます。

これから、このテキストを使用される方の役に立てれば  
嬉しい限りです。



# 始める前に

この資料は、NIHONGO Fun & Easyのテキストを手元に用意して照らし合わせながら読んでいただくと、より分かりやすく構成されています。

まだ、お持ちでない方は、先にご購入いただくことをおすすめします。



電子書籍 ￥1,760

単行本 ￥2,200

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で  
より詳細を確認できます。

NIHONGO Fun & Easy II についても  
同時に紹介しています。

# Unit 7

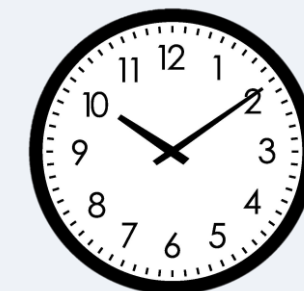
Unit 7は「交通」に関するフレーズを学びます。

フレーズは2つのみで、電車に関する単語や地名が多いため、新出語彙は割と簡単だと思います。



Unit 7は少し軽めなので、ここでRemember and Useにある、**時間の言い方を勉強するのがおすすめ**します。

1分単位ではなく、5分単位で記載がありますので、そこまで難しくないと思います。





# Unit 7 Phrase 1

## フレーズ

これ、横浜に行きますか。

初めて「行きます」という動詞が出て来ますので、覚えてもらえると質問以外でも使える様になるかと思います。

フレーズや単語は難しくなく、練習も割と簡単ですので、スムーズに進むことが多いです。

## たまに聞かれる質問

ここで聞かれる質問としては「あっち(over there)」と前のユニットで出てきた「あそこ(over there)」の違いについて、たまに聞かれます。

簡単に「あそこ」の方が丁寧バージョンです、と言った程度の説明でOKです。



# Unit 7 Phrase 2

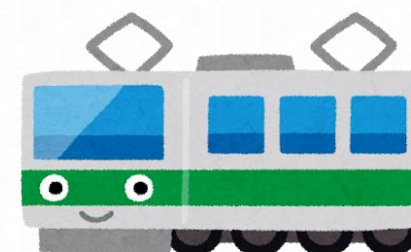
## フレーズ

新宿まで、どうやって行けばいいですか。

フレーズ2は、少し長いフレーズなので、言うのに苦労する人がいます。  
新出語彙は、地名だけですので、フレーズをたくさん言う練習ができると◎です。

## ワンポイント

テキストにある地図は東京の路線図です。  
東京近辺に住んでいる人ならいいですが、東京以外、  
または海外に住んでいる人とのレッスンの際は、  
その場所の路線図を使用しても良いかと思います。



# Unit 7 Phrase 3

## フレーズ

東京から京都までどのくらいかかりますか。

このフレーズも長めで、スムーズに言えない人がいます。  
場所を変えるなどして、フレーズを言う練習を多めに行ってもいいと思います。

## ワンポイント

Unit 7 のダイアログでは、数字（¥）が出てきます。  
結構、皆さん、数字の言い方を忘れているので、いきなりダイアログに入らない方が良さかと思っています。

Unit 3 の Material ページを見ながら行ったり、事前に少し数字の言い方の復習をしてからダイアログに入るとスムーズです。

# Unit 7 Calendar

## Materialページ

ここでは、曜日・日付・月の言い方が紹介されています。  
全て覚える必要はないですが、紹介程度はしてもいいと思います。  
また、今後のレッスンで、毎回その日の曜日や日付を言う練習をしてみてもいいかもしれませんね。





# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit 7

Unit 7 Phrase 1

横浜/よこはま  
yokohama

東京/とうきょう  
tokyō

新大阪/しんおおさか  
shinōsaka

成田空港/なりたこうこう  
narita kōkō



サンプル

2 番線/2 ばんせん  
2bansen

ちがうホーム  
chigau hōmu

ちがう線/ちがうせん  
chigau sen

次の電車/つぎのでんしゃ  
tsugi no densha

あっち  
acchi

反対/はんたい  
hantai

フレーズ1

[ダウンロード](#)

フレーズ2

[ダウンロード](#)

# Unit 8

Unit 8は「予定や行動について」話せるようになるフレーズを学びます。

たくさん動詞が出てきますので、学習者さんも自分の事を話せるようになり割と楽しんでもらえると思います。

動詞がたくさん出て来ますので、混乱する人もいます。

一気に全部行わなくても、少しずつ導入しても◎です。

「言いたかった」事が今まで以上に、日本語で言えるようになるので、たくさん質問をして学習者さんからの発話を増やせると、やる気アップに繋がると思います。

# Unit 8 Phrase 1

## フレーズ

美術館に行きます。

「行きます」はUnit 7 Phrase 1で既に勉強していますので、覚えている人も多いです。ここでは、場所を変更して練習がたくさんできると◎です。

## よく聞かれる質問

ここでよく聞かれるのが「おつかれさまです」についてです。  
色々な挨拶はU11P3で勉強しますが、ここでは「おつかれさまです」は  
いつ誰に使うかという事を、簡単に伝えると良いと思います。  
テキストにも書いてありますが、質問があったら、媒介語を使用して良いので、  
手短かに伝えましょう。

# Unit 8 Phrase 2

## フレーズ

昨日はうちで日本語を勉強しました。

フレーズ2は**動詞の過去形**を勉強します。

今までも特に動詞の現在形を勉強した訳ではないのですが、「ます」「ました」だけの変換であれば、難しくはなく、現在形も過去形も一気に勉強できると思います。

## ワンポイント

新出語彙は動詞の現在形で書かれていますので、まず動詞の現在形を勉強し、その後、過去形に変換してもらって、過去形も勉強していくと、スムーズかと思います。

必要であれば、Remember and Useのページを用いて紹介してもいいです。



# Unit 8 Phrase 3

## フレーズ

すもを見たいです。

フレーズ3は「～たいです」というフレーズです。  
ます形の動詞を「たいです」バージョンに変換する練習をすると、今まで勉強した動詞も  
使って「～たいです」と言えるようになるので、伝えてみるといいのかな、と感じています。

## ワンポイント

Unit 8では、たくさん動詞を勉強するので、自分の予定などを話してもらう  
ようにすると良いかと思います。  
先生が、「週末、新宿に行きます。服を買います。」など既習語彙を使って  
例を出すと、学習者さんも色々アレンジをしてくれたりします。

# Unit 8 Remember and Use

## ワンポイント

ここでは、文法事項の記載があります。  
学習者さんの中には、少し文法も知りたいと思う方もいます。  
そんな方には、このページを使って、ちょっとだけ文法を試してみてもいいです。

助詞についても説明がありますが、もっと詳しく知りたいという方は、  
巻末のgrammarページを紹介すると◎です。  
より詳しい説明が英語で書かれています。

Unit 8では、**動詞の現在形・過去形・たいですの3つを一気に勉強**します。  
少しボリュームが多いですが、一気に話せる範囲が広がります。  
先生も学習者さんも、今まで以上に会話ができるようになり、お互いより  
楽しいレッスンができると思います。



# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit 8

Unit8 Phrase1

美術館/びじゅつかん  
bijyutsukan

新宿/しんじゅく  
shinjyuku

友だちのうち/ともだちのうち  
tomodachi no uchi

本屋/ほんや  
hon-ya


買い物/かいもの  
kaimono

公園/こうえん  
Kōen

飲み/のみ  
nomi

ごはんを食べ/ごはんをたべ  
gohan o tabe

うちに帰ります/うちにかえります  
uchi ni kaerimasu

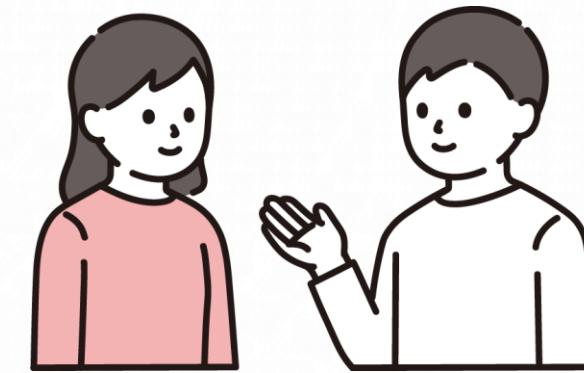


フレーズ1	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ2	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ3	<a href="#">ダウンロード</a>

# Unit 9

Unit 9では「形容詞を使って感想を言う」事ができるようになります。

Unit 8では動詞、Unit 9では形容詞を学ぶため、より一層表現の幅が広がります。



ユニット末には、形容詞の形の変化表もあるので、できる方であれば、過去形や否定形も導入して練習してみても◎です。  
ここで、全部覚えきれなくても、一回ここで触れておくことで、今後再度、形容詞を勉強した際に、呑み込みが早くなる可能性があります。



# Unit 9 Phrase 1

## フレーズ

日本の生活はどうですか。

ここでは、このフレーズを覚えるというよりも、この質問に形容詞を使って答えられるようになる事が目的です。

テキストには4つの質問がありますが、その他にも質問できそうな物があれば足して形容詞を使って答えてもらう練習がたくさんできるとより良いです。

### 《追加質問例》

1. 日本のスーパーは、どうですか。
2. 日本の電車は、どうですか。
3. 日本のトイレは、どうですか。
4. 日本のコンビニは、どうですか。 など

Unit 3 Phrase 4でも少し形容詞を勉強しています。  
軽く復習してもいいですね。



# Unit 9 Phrase 2

## フレーズ

旅行はどうでしたか。

フレーズ2は**形容詞の過去形**を勉強します。  
い形容詞とな形容詞どちらもあり、テキストには、別々に記載されています。  
ただ、い形容詞とな形容詞について言及はされておきませんので、ユニット末にある  
remember and useのページを使って説明をしてみても良いですね。

## ワンポイント

テキストの新出語彙は過去形ですが、語彙の導入は、現在形をしてから  
過去形にしてもいいと思います。  
先生ご自身のやり方で問題ないですが、**可能なら現在形と過去形、両方  
練習できる**といいのかな、と感じます。

# Unit 9が終わったら

## おすすめの練習

Unit 8とUnit 9で動詞や形容詞を勉強したので、限られた語彙ではありますが、一気に会話の幅が広がりました。  
ここで、「日本語が話せる！」という自信をつけてもらえるよう、少し会話練習を多くしてみてもいいと思います。

### 【質問例】

昨日、何をしましたか。／〇〇は、どうでしたか。  
あなたの国（街）は、あついですか。／さむいですか。  
旅行は好きですか。／京都は、どうでしたか。  
日本の電車は、どうですか。／便利ですか。

など

# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit 9

Unit9 Phrase1

楽しい/たのしい tanoshii	おもしろい omoshiroi	おいしい oishii	高い/たかい takai
安い/やすい yasui	むずかしい muzukashii	いい ii	便利/べんり benri
きれい Kirei	<div>サンプル</div> 		
日本の生活/にほんのせいかつ nihon no seikatsu			
日本語/にほんご nihongo			
		日本料理/にほんりょうり nihon ryōri	
		今住んでいるところ/いますんでいるところ ima sundeiru tokoro	

フレーズ1

[ダウンロード](#)

フレーズ2

[ダウンロード](#)



# Unit 10

Unit 10では「食事に関する形容詞や言葉」を学びます。

Unit 9で、形容詞を学びましたが、unit 10の形容詞は食事に関する表現の形容詞になります。

食事に関する事ですので、テキストの最初の方にある  
日本料理の写真ページを使ってもいいです。  
また、学習者さんの国の料理について話してみても  
楽しいと思います。



# Unit 10 Phrase 1

## フレーズ

それ、どんな味ですか。

ここでは、このフレーズを覚えるというよりも、この質問に形容詞を使って答えられるようになる事の方が目的です。  
食べ物イラストや写真を見ながら、ペアで聞きあったりしてみるのも良いと思います。

## 時々聞かれる質問

時々聞かれるのが「いいえ、いいです」と「いいえ、結構です」の違いです。  
ユニット10では「いいえ、いいです」というフレーズが出て来ますが、  
以前「結構です」と習ったため、覚えている人は、混乱する時があります。  
細かく説明しなくても、どちらを使っても問題ないよと伝えれば十分です。

# Unit 10 Phrase 2

## フレーズ

おしそうですね。

新出語彙はすぐに「○○そうです」に繋がられる様、「おいし（い）」など、最後の「い」にカッコが付けられています。

このテキストでは、文法はあまり触れないため、文法を理解していなくても、カッコの部分はカットすれば、直ぐにフレーズに繋がられるようになっています。

## よく聞かれる質問

ここで聞かれる質問で多いのが「そうですね」の「ね」です。

「そうです」と「そうですね」の違いは何ですか、と聞かれる事があります。この時の「ね」は、同調を求める時に使うという事を媒介語を使って伝えるか、対面レッスンであれば、先生が少し大げさに表情を付けて、学習者さんに「おいしそうですね^^」など、違いを表現できると◎です。

# Unit 10 Phrase 3

## フレーズ

豚肉はちょっと...

フレーズ3は「〇〇はちょっと…」で、食べられない物を伝えるフレーズになっています。  
「ちょっと…」の後を何故言わないのか、この辺を先生の実情だったりで伝えられると◎です。

## 時々聞かれる質問

会話練習内にでてくる「〇〇なんです」と「〇〇です」の違いです。

「〇〇なんです」はemotional versionである、など媒介語を使って伝えてもいいと思いますが、ここでも、先生が顔や態度で表現できるとより分かってもらいやすいかと思います。

演技をするのは恥ずかしいなと思う方もいるかも知んですが、先生が実演すると学習者さんの印象に残りやすいと感じます。



# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit 10

Unit10 Phrase1

あまい amai	からい karai	すっぱい suppai	しょっぱい shoppai
にがい nigai	油っこい/あぶらっこい aburakkoi	あまからい amakarai	
さっぱりした味/あじ sapparishita aji	おもしろい味/あじ omoshiroi aji	おいしい oishii	
おいしくない oishikunai	味(あじ)があまりない aji ga amari nai		



フレーズ1	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ2	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ3	<a href="#">ダウンロード</a>

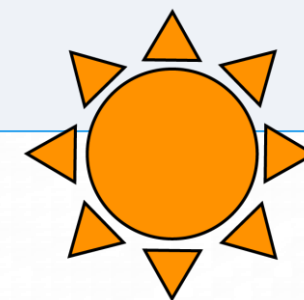
# Unit 11

Unit 11では「簡単な挨拶や世間話」をする際のフレーズを学びます。

天気についてや、色々な挨拶（別れ際）を学べ、仕事をされている方であれば、すぐに使える言葉も多いかと思います。



ユニット 11 の最後には、季節に関するまとめのページがあります。  
四季や天気の言い方があり、日常生活でもニュース等で見聞きする事が多いと思いますので、レッスンでも触れてみると◎です。



# Unit 11 Phrase 1

## フレーズ

今日はいいい天気ですね。

フレーズ1は、**天気に関する**名詞や形容詞を学びます。  
新出語彙は、既に知っているものもある人も居ると思います。

## よく聞かれる質問

「いってらっしゃい」「いってきます」についてです。

テキストの英訳では「いってらっしゃい=Have a nice day」

「いってきます=see you later」とあるため、友達と別れる際にも

「いってらっしゃい」(have a nice dayと言いたいために)を使っても良いのか、と聞かれた事があります。

「いってらっしゃい」「いってきます」はいつ誰に使うのかを伝えないと、誤用してしまう可能性があります。

# Unit 11 Phrase 2

## フレーズ

最近、仕事はどうですか。

オープンクェッションなので、学習者さん自身の意見をどんどん引き出せると、より楽しいレッスンになると思います。  
ここでも形容詞も学びますが、unit9でもたくさん形容詞を学んでいるので、フレーズ2に載っていない形容詞を使っても答えてもらえたら、より◎です。

## よく聞かれる質問

ここでよく聞かれる質問は「おかげさまで」の使い方です。  
テキストにも英語で説明が入っていますが、割と混乱する人が多い印象です。  
「おかげさまで」を使う相手、状況を少し追加して伝えないと、理解してもらえない事が多いと思います。



# Unit 11 Phrase 3

## フレーズ

じゃ、また。

フレーズ3は、フレーズではなく別れ際の挨拶を勉強します。  
今までは「じゃ、また」しか知らなかった人も、ここで「また今度」「また後で」など  
違う言い方も知る事ができます。

## ワンポイント

日本で仕事をしている人であれば「お先に失礼します」  
「おつかれさまです」など覚えて使えるようになってもらえると◎ですね。  
ここでの練習は3つの状況が提示されていますが、物足りないと感じたら  
もう少し準備しておいてもいいと思います。

# Unit11のリスニング

## おすすめの練習

Unit11ぐらいまでくると、できる人は、簡単にリスニングを聞き取れるようになります。

少し物足りないと感じたら、シャドーイングを取り入れる事も一つの手です。  
巻末にリスニングのディスクリプションがあります。

次のユニットで最後になります。  
復習も兼ねて、最初のアイスブレイクなどで、  
既習語彙やフレーズを使って  
簡単な会話をしてみてもいいと思います。



# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit11

Unit11 Phrase1

いい天気 (てんき) iitenki	嫌な天気/いやな天気 iyana tenki	雨/あめ ame
蒸し暑い/おしあつい mushi atsui	風が強い/かぜがつよい kaze ga tsuyoi	暑い/あつい atsui
寒い/さむい samui	暖かい/あたたかい atatakai	涼しい/すずしい suzushii



フレーズ1	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ2	<a href="#">ダウンロード</a>
フレーズ3	<a href="#">ダウンロード</a>

# Unit 12

Unit 12では少し長めの新出語彙がでてきます。

ただ、最後のユニットですので、学習者さんもそんなに苦勞せず覚えられる人が多い印象です。

既習語彙やフレーズも使い、たくさん会話を楽しめるユニットです。

このテキストの後、どのテキストへ進むのか、もしくは一旦日本語の勉強はお休みするのか、学習者さんによって異なると思いますが、**理想としては、このテキスト終了時には、ひらがな&カタカナは終了している事です。**  
ユニット12をレッスンでする際は、最初の5分程度、毎回文字の復習をしても良いと思います。



# Unit 12 Phrase 1

## フレーズ

お茶を飲みませんか。

今までも何度もお伝えしていますが、このテキストでは文法はあまり教えない方針なので、「ます形」などと文法用語は使わなくても大丈夫です。  
テキストにも「～ます」の「ます」の部分にはカッコが付けてあり、ここを「ませんか」に変換するというのが分かるようになっています。

ここまで順調に進んでいる人は、アレンジを自分で聞かせて文を作ってくれます。  
できる人であれば、どんどん会話を膨らませていっても楽しいと思います。

# Unit 12 Phrase 2

## フレーズ

温泉に行ったことがありますか。

自分の経験が話せるのは楽しいですね。

最後のフレーズとしてとても良いと思います。グループレッスンであれば、学習さん同士色々質問しあったりして、結構盛り上がると思います。

テキストでは「お好み焼きを食べた事がありますか」ですが、

「お好み焼き」以外にも他の日本食でも、学習者さんの国の食べ物でも、食べ物の名前をチェンジして、聞きあっても良いですね。

ここは、最後のフレーズになりますので、「このテキスト、楽しかった」と終わってもらえるようにできるといいですね。

# Unit 12 One More Step

ここでは、日本の季節ごとのイベントについて紹介されています。  
学習者さんの国のイベントも合わせて話したりしても、楽しいと思います。  
Unit 12の会話練習内で少し取り上げてみてもいいです。



ユニット12のダイアログには、月と曜日が出て来ます。  
ダイアログ自体は、そんなに難しくないなので、時間があったら、  
月や曜日の言い方を再度確認してもいいと思います。  
最後ですので、このテキストで習った事を復習したり、会話練習で入れたり  
しても◎です。

# 無料教材ダウンロード

サイト「[日本語教師のたまご](#)」で、フレーズごとに合わせた教材を掲載しています。  
必要に応じてお使いください。

## Unit 12

Unit 12 Phrase 1

お茶を飲み(ます)/おちゃをのみます  
ocha o nomi(masu)

ボウリングを(ます)  
bōringu o shi(masu)



映画を見(ます)/えいがをみます  
eiga o mi(masu)

飲みに行き(ます)/のみにいきます  
nomi ni iki(masu)



ごはんを食べに行(ます)/ごはんをたべにいきます  
gohan o tabe ni iki(masu)

遊びに行き(ます)/あそびにいきます  
asobi ni iki(masu)

サンプル

これから  
korekara

今晚/こんばん  
konban

週末/しゅうまつ  
shūmatsu

明日/あした  
ashita

フレーズ1

[ダウンロード](#)

フレーズ2

[ダウンロード](#)